

# 滋賀県で採集されたエンマムシの記録

山本雅則<sup>1)</sup>・大原昌宏<sup>2)</sup>

1) 〒 521-1322 近江八幡市安土町宮津 1-57

2) 〒 060-0810 札幌市北区北 10 西 8 北海道大学総合博物館 (ohara@museum.hokudai.ac.jp)

## Records of histerid beetles (Coleoptera, Histeridae) collected in Shiga Prefecture, Japan

Masanori YAMAMOTO and Masahiro ÔHARA

### はじめに

滋賀県ではレッドデータリスト作成の一環として県内の昆虫リスト作成を行っている。これまでに食糞性コガネムシ類(山本, 2002), コメツキムシ(八尋・岸井, 2009), アカハネムシ(山本・斎藤, 2013)およびピロウドコガネ類(山本・小林, 2013)などの報告が行われている。本報告では手許にある滋賀県産のエンマムシ科の種について報告する。

報告において、種の同定は筆者の一人大原が行った。また、採集者はすべて筆者の一人山本であるため、データには記していない。なお、データに記したFITとはフライトインターセプショントラップ(Flight interception trap)である。構造は、地面に縦 21 cm×横 31 cm×高さ 5 cm のプラスチックトレイを設置し、短辺の中央両側に立てた金杭間に障壁用の透明ゴミ袋をターンクリップで固定したもので、トレイ内には腐敗防止用に酢酸液(市販の写真用停止液)を添加した水道水(回収時、適宜補充)を入れ、回収は 7 日毎に行ったものである。設置期間(設置数)は、多賀町佐目高室山, 2003 年 3 月 30 日～2004 年 3 月 20 日(4 基); 日野町北畑綿向山, 2004 年 8 月 11 日～2006 年 3 月 5 日(4 基); 甲賀市甲南町杉谷岩尾山, 2005 年 5 月 4 日～2006 年 3 月 5 日(8 基); 東近江市紅葉尾町, 2007 年 5 月 3 日～継続中(5 基)である。市町名については、市町村合併後の現時点のもので示した。

1. ヒメホソエンマムシ *Niponius osorioceps* Lewis, 1885  
2 exs., 多賀町佐目 高室山 (FIT), 3. V. 2003; 1 ex., 11. V. 2003; 1 ex., 7. VI. 2003; 1 ex., 29. VI. 2003; 2 exs., FIT (No.3, 4), 日野町北畑 綿向山, 21. V. 2005; 1 ex., FIT (No.4), 8. V. 2005; 2 exs., FIT (No.4), 14. V. 2005.
2. オオセスジエンマムシ *Onthophilus ostreatus* Lewis, 1879 [初]  
2 exs., 永源寺相谷町熊原牧場(牛糞), 8. XI. 2008.
3. キノコセスジエンマムシ *Onthophilus flavicornis* Lewis, 1884  
1 ex., 日野町西明寺 竜王山(タヌキ糞), 21. IV. 1999; 1 ex., 東近江市糠塚(タヌキ糞), 16. V. 1990.
4. キノコアカマルエンマムシ *Notodoma fungorum* Lewis, 1884 [初](図 1)  
1 ex., 東近江市紅葉尾高野町, 20. VI. 2009; 1 ex., 東近江市紅葉尾町, 19. VI. 2010.
5. チュウジョウチビエンマムシ *Baconia (Binhister) chujoi* (Cooman, 1941) [初]  
1 ex., 東近江市紅葉尾町, 4. VII. 2008.
6. オオヒラタエンマムシ *Hololepta amurensis* Reitter, 1879  
1 ♂, 長浜市余呉町菅並, 27. VII. 1988; 1 ♀, 東近江市紅葉尾町, 12. V. 2007; 1 ♀, FIT (No.1), 14. VIII. 2011.
7. マツナガエンマムシ *Platysoma (Platylister) pini* Lewis, 1884 [初](図 2)  
1 ex., 甲賀市甲南町杉谷 岩尾山 (FIT), 26. VI. 2005.
8. ナガエンマムシ *Platysoma (Cylister) lineicollis* Marseul, 1873 [初]  
3 exs., 日野町北畑 綿向山, 30. V. 1990; 1 ex., 永源寺相谷町, 4. V. 2008.
9. ヤマトエンマムシ *Hister japonicus* Marseul, 1854  
6 exs., 長浜市西浅井町山門 山中牧場, 6. IX. 1986; 4 exs., 日野町深山口, 7. IX. 1986; 1 ex., 多賀町佐目 高室山, 2. VII. 2000.
10. ヒメツヤエンマムシ *Hister simplicisternus* Lewis, 1879 [初]  
1 ex., 長浜市西浅井町山門 山中牧場, 6. IX. 1986.

11. キノコエンマムシ *Margarinotus (Ptomister) boleti* (Lewis, 1884) [初]  
1 ex., 東近江市紅葉尾町 FIT (No.3), 4. IX. 2010.
12. ニセヒメエンマムシ *Margarinotus (Ptomister) agnatus* (Lewis, 1884) [初]  
1 ex., 東近江市和南町澁子, 9. VII. 1988.
13. コエンマムシ *Margarinotus (Grammostethus) niponicus* (Lewis, 1895) [初]  
4 exs., 大津市芝原 (キノコ), 30. VII. 1988; 2 exs., 東近江市和南町澁子 (人糞), 2. VII. 1988; 1 ex., 東近江市紅葉尾町, 5. V. 1989; 1 ex., FIT (No.2), 19. VII. 2008; 8 exs., FIT (No.2), 9. VIII. 2008; 2 exs., FIT (No.3), 31. VII. 2010; 1 ex., FIT (No.1), 14. VIII. 2010; 2 exs., FIT (No.3), 14. VIII. 2010; 3 exs., FIT (No.3), 4. IX. 2010; 1 ex., FIT (No.3), 11. IX. 2010.; 1 ex., FIT (No.1), 14. VIII. 2011; 6 exs., 長浜市余呉町文室 (牛糞トラップ), 30. VI. 2008; 1 ex., 米原市山東町清滝 清滝山 (タヌキ糞), 28. IV. 2001; 3 exs., 高島市畑, 18. VII. 1999; 1 ex., 日野町北畑 綿向山 FIT (No.1), 19. VI. 2005.
14. クロアリヅカエンマムシ *Hetaerius optatus* Lewis, 1884 [初]  
1 ex., 日野町北畑 綿向山 (FIT), 28. V. 2005; 2 exs., 26. VI. 2005; 1 ex., 3. VII. 2005; 1 ex., 甲賀市甲南町杉谷 岩尾山 (FIT), 26. VI. 2005.
15. ニセハマベエンマムシ *Hypocaccus (Hypocaccus) sinae* (Marseul, 1862)  
4 exs., 大津市志賀町和邇北浜, 13. V. 2002; 1 ex., 高島市安曇川町北舟木, 28. III. 2004.

16. ヤマハマベエンマムシ *Hypocaccus (Hypocaccus) subaeneus* (Schmidt, 1890)  
1 ex., 彦根市新海, 30. XI. 1985.

### 考察

本報告では計 16 種 (87 頭) を記録し、滋賀県分布初記録と考えられる 10 種については、種名末尾に [初] と記した。

滋賀県ではこれまで以下のエンマムシ科 13 種が記録されている。

ヒメホソエンマムシ *Niponius osorioceps* Lewis, 1885 — Ôhara (1994).

キノコセスジエンマムシ *Onthophilus flavicornis* Lewis, 1878 — 水野 (2001) .

オオヒラタエンマムシ *Hololepta amurensis* Reitter, 1879 — Ôhara (1991).

ヤマトエンマムシ *Hister japonicus* Marseul, 1854 — Ôhara, 1994.

エンマムシ *Merohister jekeli* (Marseul, 1857) — 新保・保積 (1979); 新保 (1991), いずれの文献でも命名者は省略, *Hister jekeli* として記録; Ôhara (1992, 1999).

ツヤマルエンマムシ *Atholus pirithous* (Marseul, 1873) — Ôhara (1993).

ハコネエンマムシ *Margarinotus sutus* (Lewis, 1884) — Ôhara (1994).

ニセヒメナガエンマムシ *Platysoma rasile* Lewis, 1884 — 八尋ほか (2013) .

クロチビエンマムシ *Carcinops pumilio* (Erichson, 1834) — Ôhara (1994), 八尋ほか (2013) .

オオツブエンマムシ *Anapleus hagai* M. Ôhara, 1994 — 水野 (2001) .

クロツブエンマムシ *Chaetabraeus bonzicus* (Marseul, 1873) — 八尋ほか (2013) .

ヤマハマベエンマムシ *Hypocaccus subaeneus* (Schmidt, 1890) — Ôhara (1999); 初宿 (1997, 1999) .

ニセハマベエンマムシ *Hypocaccus sinae* (Marseul, 1862) — Ôhara (1999); 初宿 (1997, 1999) .

これらと本報告を合わせることにより、滋賀県のエンマムシ科の記録種数は 23 種となる。近府県では福井県で 43 種 (福井県県民生活部自然保護課, 2002), 京都府で 47 種 (京都府企画環境部環境企画課, 1998)



図1. キノコアカマルエンマムシ *Notodoma fungorum* Lewis, 1884. 図2. マツナガエンマムシ *Platysoma (Platylister) pini* Lewis, 1884.

が記録されている。

コツヤエンマムシ *Atholus duodecimstriatus quatuordecimstriatus* (Gyllenhal, 1808) については、全国的に記録が認められる種であり、上記の福井県と京都府においても記録があるが、これまでに記録がない県として「茨城、滋賀、奈良、和歌山、山口」の5県があり、滋賀県も含まれている。今後、この種の分布確認とともに、滋賀県内の湖西・湖北域のデータを集積するなど、記録の集積を継続したい。

#### 引用文献

- 福井県県民生活部自然保護課, 1998. エンマムシ科 Histeridae. pp. 119–121. 福井県昆虫目録 (第2版). 567 pp.
- 京都府企画環境部環境企画課, 2002. 京都府自然環境目録鞘翅 (コウチュウ) 目. 京都府文化環境部自然環境保全課 (オンライン). [http://www.pref.kyoto.jp/kankyo\\_red/1214198141184.html](http://www.pref.kyoto.jp/kankyo_red/1214198141184.html)
- 水野弘造, 2001. 水野弘造自力採集甲虫目録 (1951–2001). pp. 61–146. 関西甲虫談話会 (編), 水野弘造の20世紀甲虫誌. 146 pp.
- Ôhara, M., 1991. Redescription of the Japanese species of the genus *Holelepta* (Coleoptera, Histeridae), Part 1. Elytra, Tokyo, 19: 101–110.
- Ôhara, M., 1992. A revision of the genus *Merohister* from Japan (Coleoptera, Histeridae), Part. 1. Jpn. J. Ent., 60 (2): 377–389.
- Ôhara, M., 1993. A revision of the Japanese species of the genus

- Atholus* (Coleoptera, Histeridae), Part. 2. Elytra, Tokyo, 21: 135–150.
- Ôhara, M., 1994. A revision of the superfamily Histeroidea of Japan (Coleoptera). Insecta matsumura, new series, (51): 1–283.
- Ôhara, M., 1999. A revision of the superfamily Histeroidea of Japan (Coleoptera). Supplementum 1. Insecta matsumura, new series, (55): 75–132.
- 新保友之, 1991. 滋賀県の昆虫相 (II). pp. 1791–1845. 滋賀県自然誌. 滋賀県自然保護財団.
- 新保友之・保積隆夫, 1979. 滋賀県の昆虫相. pp. 801–889. 滋賀県の自然. 滋賀県自然保護財団.
- 初宿成彦, 1997. 琵琶湖岸の砂浜環境における甲虫相 — 海浜性甲虫の分布 —. 自然史研究, 2 (13): 181–194.
- 初宿成彦, 1999. 琵琶湖岸の海浜性甲虫. 昆虫と自然, 34 (9): 31–34.
- 八尋克郎・亀田佳代子・那須義次・村濱史郎, 2013. カワウの巣の昆虫相. 昆虫 (ニューシリーズ), 16 (1): 15–23.
- 八尋克郎・岸井 尚, 2009. 滋賀県のコメツキムシ類の記録. ねじればね, 125: 4–12.
- 山本雅則, 2002. 滋賀県で採集した食糞性コガネムシ類 (4). 鯉角通信, 5: 1–8.
- 山本雅則・小林裕和, 2013. 滋賀県で採集されたピロウドコガネ類の記録. 鯉角通信, (26): 47–51.
- 山本雅則・斎藤昌弘, 2013. 滋賀県で採集されたアカハネムシの記録. さやばねニューシリーズ, (9): 40.

(2013年6月29日受領, 2013年8月22日受理)

#### 【短報】久米島産陸生ガムシ類マンゲツガムシ属の初記録

日本産陸生ガムシ (=ハバビロガムシ亜科) にマンゲツガムシ属 *Psalitrus* という属がある。本属は Hoshina & Satô (2005) に日本から初記録されたグループで、琉球からは タイワンマンゲツガムシ *P. sauteri* d'Orchymon, 1929 と ツヤマンゲツガムシ *P. masataikai* Hoshina, 2007 の2種が知られている。前者は奄美大島、沖縄本島、宮古島、西表島、与那国島、台湾から記録があり、後者は奄美大島からしか採集されていない (Hoshina & Satô, 2006; 保科・佐藤, 2006; Hoshina, 2007; 保科, 2012)。

2013年3月に筆者は沖縄県久米島にてマンゲツガムシ属2種を落ち葉ふるいにて採集したので、本稿にて報告したい。標本データは以下のとおりである。

##### タイワンマンゲツガムシ

10 exs., 久米島アール岳, 19. iii. 2013, H. Hoshina leg.

##### ツヤマンゲツガムシ

8 exs., 久米島アール岳, 19. iii. 2013, H. Hoshina leg.

琉球産マンゲツガムシ属の2種はいずれも後翅を欠く。しかし、列島内の島間での種内の形態差はほとんど見出されない。この点は同じ土壌性コウチュウ類でも島ごとに種分化を起こしているコケムシやタマキノコムシとは大きく異なる点である。

#### 引用文献

- Hoshina, H., 2007. Description of a new species of the genus *Psalitrus* (Coleoptera, Hydrophilidae) from the Ryukyus, Japan, with a key to Japanese species. Elytra, Tokyo, 35 (1): 42–47.
- 保科英人, 2012. 与那国島からのタイワンマンゲツガムシの初記録. 月刊むし, (498): 48–29.
- Hoshina, H. & M. Satô, 2005. New record of the genus *Psalitrus* (Coleoptera, Hydrophilidae) from Japan, with description of a new species. Japanese Journal of systematic Entomology, 11 (1): 15–19.
- Hoshina, H. & M. Satô, 2006. Additional record of *Psalitrus sauteri* d'Orchymont (Coleoptera, Hydrophilidae) from Japan. Elytra, Tokyo, 34 (1): 106.
- 保科英人・佐藤正孝, 2006. ガムシ科 *Psalitrus* 属の分布に関する知見. ねじればね, (116): 13–14.

(保科英人 910–8507 福井市文京 3–9–1 福井大学教育地域科学部)